科目名	看護研究方法論Ⅰ （量的研究） Nursing Research Methodology Ⅰ	担当教員 (研究室番号)	小池 敦（510） 大西 範和（501） 齋藤 真（001）	教員への連絡方法 (メールアドレス)	小池:atsushi.koike@mcn.ac.jp 大西:norikazu.oonishi@mcn.ac.jp 齋藤：shin.saitou@mcn.ac.jp

履修年次	1年次後期	科目区分	共通科目Ⅰ	選択区分	選択	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	量的研究の方法は看護研究の中でも重要な位置を占める研究方法の一つである。この講義では、量的研究の枠組みから解説を行い、量的研究の方法を理解し実践する際に必要となる基本的事項を学ぶ。
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP) 主要なDP	３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP) 関連するDP	４．看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。 ５．看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。
到達目標	1. 量的研究に必要な基本事項についての知識を身につける。 2. 数量データを用いる研究の計画を立てることができる。 3. 数量データが意味する内容を理解し、データ分析ができる。
成績評価方法(基準)	各担当教員が提示する課題（レポート課題等）により総合的に判断する。
教科書	必要に応じて適宜指示する。
参考書等	必要に応じて適宜指示する。
受講者へのメッセージ	数量データを扱うことは科学研究の基本となります。修士論文でどのような手法を用いた研究を行うかに関係なく、量的研究の方法を基本的な知識として位置づけ、積極的に受講するようにしてください。
備考	

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
１回	イントロダクション	看護研究における量的研究の位置づけについて理解する。	小池	講義
２回	量的研究の基礎　①	母集団と標本、標本抽出の方法などについて理解する。	小池	講義
３回	量的研究の基礎　②	研究デザインと仮説の検証方法について学ぶ。	小池	講義
４回	量的研究の基礎　③	データの収集方法としての研究手法について学ぶ。さらに、尺度水準などデータの数量化に関する手続きについて理解する。	小池	講義
５回	質問紙法の実際　①	質問紙を用いた調査に関して、実際の文献を読みながら、質問紙の作成過程について学ぶ。	小池	講義
６回	質問紙法の実際　②	実際に質問紙調査を実施する際の手続き、注意点等について学ぶ。	小池	講義
７回	質問紙法の実際　③	質問紙法によって得られたデータについて、図・表を用いたまとめ方について学ぶ。	小池	講義
８回	質問紙法の実際　④	尺度開発の方法について、実際の尺度開発の文献を読みながら、尺度開発がどのような手続きで行われるか学ぶ。	小池	講義
９回	実験的研究の実際　①	実験的研究の流れについて例を用いて概括し、課題の抽出、仮説の設定、実験の計画、方法の確立などを学ぶ。	大西	講義
10回	実験的研究の実際　②	測定の実際を体験し、指標や測定方法の妥当性、実施の正確性、測定の注意点などについて学ぶ。	大西	講義
11回	実験的研究の実際　③	得られた実験データを処理し、結果を解釈しながら、数値の処理、算術平均、統計処理、グラフの作成、仮説や実験計画に基づいた考察などについて学ぶ。	大西	講義
12回	実験的研究の実際　④	自らの研究テーマについて、量的研究の視点をもって短くまとめて発表し合い、受講者同士で意見交換する。	大西	講義
13回	統計的手法および演習　①	データ処理の際に用いる統計学について概観するとともにデータ処理を行うことの意義について学ぶ。さらに誤った統計の使用例についても解説を行う。	齋藤	講義
14回	統計的手法および演習　②	看護研究においてよく用いられる記述統計について概観する。また検定の手法について解説し実際にパソコンを用いて演習を行う。	齋藤	講義
15回	統計的手法および演習　③	看護研究においてよく用いられる多変量解析について概観する。また重回帰分析、因子分析、判別分析などについて説明を行う。	齋藤	講義